



# 特定健診・特定保健指導が 第4期になりました！

特定健診(特定健康診査)は、生活習慣病予防の原因となるメタボリックシンドロームに着目した健康診断で、40歳から74歳の方を対象に行われています。特定健診で生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できると判定された方に対して、専門スタッフ(医師、保健師、管理栄養士)が生活習慣を見直すアドバイスやサポートをすることを特定保健指導といいます。

2024年4月から第4期が開始しています。主な変更点は次のとおりです。

## 特定健診の主な変更点

### 健診項目

随時中性脂肪:175mg/dl以上が追加されました。  
(「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版」の変更に伴い追加)

### 標準的な質問票

**喫煙** 現在喫煙しない方が過去に喫煙していたかが明確になるよう質問項目が追加されました。

**飲酒** 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒している方をより詳細に把握できるように、飲酒頻度・量の選択肢が細分化されました。  
また、禁酒したのか、もともと飲酒習慣がないのか分かるように項目が追加されました。

**指導歴** 保健指導希望の意思を確認するものでしたが、保健指導を受けたことがあるかどうかの質問に変更されました。

## 特定保健指導の主な変更点

今まで積極的支援は、プロセス評価で180ポイント達成が必要でしたが、プロセス評価に加え「アウトカム評価」(成果が出たかどうかを評価)が追加されました。

支援Aと支援Bの区分もなくなりました。アウトカム評価とプロセス評価を合わせて180ポイント達成で終了となります。

プロセス評価	ポイント数
個別支援	1回70P(最低10分以上)
グループ支援	1回70P(最低40分以上)
電話支援	1回30P(最低5分以上)
電子メール・チャット等の支援	1往復30P
健診当日の初回面接	20P
健診後1週間以内の初回面接	10P

  

アウトカム評価	ポイント数
腹囲2cmかつ体重2kg減	180P
腹囲1cmかつ体重1kg減	20P
食習慣の改善	20P
運動習慣の改善	20P
喫煙習慣の改善	30P
休養習慣の改善	20P
その他の生活習慣の改善	20P

厚生労働省「第4期特定健診・特定保健指導の見直しについて」「特定健診・特定保健指導について」を基に作成

## 新入職員紹介

医療技術部 臨床検査科  
臨床検査技師

### 萩野 美優



2024年3月に北陸大学医療保健学部医療技術学科を卒業し、入職しました。臨床検査技師としてより多くの知識を身につけ、技術の向上に日々努めていきたいと思っております。まだ分からないことが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、精一杯頑張ります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

医療技術部 放射線科  
診療放射線技師

### 宮川 理琴



2024年3月に東海医療技術専門学校を卒業し、4月に入職しました。少しでも早く即戦力となるように仕事を覚え、診療放射線技師として知識や技術の向上に努めていきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

医療技術部 放射線科  
診療放射線技師

### 山口 礼愛



3月に新潟医療福祉大学診療放射線学科を卒業し、4月に入職しました。まだまだ未熟なため、ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思っておりますが、1日でも早くチームに溶け込み、戦力になれるよう頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

富山市角川介護予防センター  
運動指導員

### 清水 虎太郎



北信越柔整専門学校を3月に卒業し4月に入職しました。利用者様が楽しんでいただけるように自分らしく頑張っていきたいと思っております。まだ不慣れな部分があり、いろいろとご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

# 理事長就任のご挨拶

この度、私こと永田義毅は、父、義邦の後任として、一般財団法人北陸予防医学協会の理事長に就任する運びとなりましたので、皆様にご挨拶申し上げます。

当協会は今年、創業75周年を迎えます。節目の年に、この責任ある地位に就けることを大変光栄に思っております。祖父が創業し、父が守り続けてきたこの事業を三代目として継承し、さらなる発展に努める所存です。

私は、1992年に医師となり、金沢大学付属病院第一内科に所属し、北陸地方の病院で勤務してまいりました。19年間勤務した富山県立中央病院では、循環器内科医として急性期医療を通じて多くの臨床経験を積みました。2018年に北陸予防医学協会入職後は、地域医療に携わりながら、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科で学びました。これまでお世話になった多くの知人、友人、そして家族の支えがあつてこそ、今日の私があると深く感謝しております。

## 県民の健康のために75年

当協会は1949年に「永田レントゲン研究所」として発足しました。

当時の日本人の死因第1位は「結核」であり、当協会はまだ十分普及していないレントゲン装置を設置し、放射線診療所を開設して結核撲滅に尽力しました。

その後、事業所健診が本格化し、巡回健診の礎を築きました。現在、職場や地域で受けられるX線集団健診が社会インフラとして当たり前の存在になっていきます。しかし1950年代はまだ



一般財団法人 北陸予防医学協会  
理事長 永田 義毅

黎明期にありました。当時の協会職員は精密機器や採血管をバスに載せて移動し、地域住民が健康診断を受けやすい環境を作り上げました。これは当時としては医療における画期的なイノベーションでした。創業から75年の間、常に変化する社会に適応しながら、地域の「健康」に貢献し、組織的な医療提供体制を維持・発展させてきた先人たちの努力に敬意を表します。

## 富山の健康と発展の実現に向けて

今後の社会における大きな課題は「人口構造の変化」です。若い世代が減り、働く世代が高齢化しています。そのため、健康を維持して働き続けることが以前にも増して重要になっていきます。富山の健康な社会を実現するためには、「県民の健康増進」「持続可能な社会保障制度の構築」、そして「経済成長」が必要です。北陸予防医学協会の使命は、病気を予防する「予防医療」と企業の生産性を高める「健康経営」を推進し、富山県の未来に貢献することです。

私は、富山県の健康社会と北陸予防医学協会の新しい未来のために、さらに努力を重ね、誠心誠意、地域の発展に力を尽くす所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

### 主な経歴と資格

医師。昭和大学医学部卒。国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所卒。医学博士。医療ビジネス経営学修士。日本内科学会 総合内科専門医。日本循環器学会循環器専門医。富山県出身。56歳。



# アイシン新和株式会社



従業員の健康のために活躍する「安全健康環境部」

はじめに  
アイシン新和株式会社は富山県と



## 熱中症対策



作業環境の改善のため空調整備はもちろんのこと、毎年5月に熱中症教育を新入社員、暑熱職場の従業員や派遣社員、管理監督者等に実施して、教育などのソフト面にも力をいれて活動しています。また過去に熱中症を発生した方などを高リスク者と選定。産業医面談を通じ、就業上の措置や職場への注意喚起をしています。その他にも体調管理日報にて自らの体調の変化への気づきを促すことと、管理監督者が部下の体調を確認できる仕組みを導入しています。工場内には無料の自動販売機を数台設置して水分補給の自己管理を促し、暑熱職場へは毎日一人一本の経口補水液の配給等も行っています。このような取組みを実施することで、昨シーズンはかなりの猛暑となりましたが熱中症発症件数は0件でした。

## 食生活改善



毎年10月に社員食堂で健康フェアを実施しています。昼食時に無料の野菜サラダの提供を行い、一食分の野菜の量(120g)の摂取を促しています。また減塩味噌汁(塩分0.6g)の提供、



無料の野菜サラダを提供する健康フェア

## メンタルヘルス推進



メンタルヘルス不調者には産業カウンセラーの資格を持つ産業保健スタッフが

入善町の減塩の取り組み紹介、「ベジチェック」で野菜摂取量の確認や血圧年齢測定を実施しました。このような活動で、健康についての関心や意識が高まる機会を提供しています。  
また、社員食堂では産業保健スタッフ・栄養士監修のもと健康メニューを提供しており、社員からは大変好評を得ています。

ベジチェックはカゴメ株式会社の登録商標です。

## 健康経営



かけがえのない社員が心身ともに実り豊かな生涯を送ってほしいと願い、健康経営に取り組んでいます。社員の健康は会社全体を活性化させ、会社の持続的な成長につながると考えます。自己成長と働きがい、人生の幸せを感じられる会社を目指し、多様性・主体性の促進による「働きがい向上」と「新たな価値創造」を実現する人材のマネジメントを推進しています。

## 健康診断の実施と活用



定期健康診断に加え各種特殊健康診断、胃がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診等を実施しています。各種がん検診の積極的な受診を推奨し、胃がん検診の受診率は70%以上、健康診断の受診率は100%、二次

## 運動への取組み



が面談をしています。またメンタルヘルスサポート会社による社外ホットラインを設置して、従業員が気軽に相談できるような体制を整えています。毎年実施のストレッチエックの受検率は100%を維持しており、ストレスへの気づきにつながっています。組織分析結果は専門家より各部署の管理職へフィードバックを行い職場環境の改善を進めています。  
さらに階層別メンタルヘルス教育の実施や管理監督者へのコミュニケーショントレーニングを継続して実施し、積極的傾聴やアサーションのスキルを身につけることでコミュニケーションの充実や部下との信頼関係の構築を図っています。

## 健康づくりにおける会社の役割



すべての仲間が健康でわくわくと仕事に取り組み、働きがいや人生の幸せを感じ、個々の強みを発揮できることを目指し、今後も取組みを進めていきたいと思えます。

### 事業所概要

- 所在地  
富山県下新川郡入善町入善2458番地
- 従業員  
363名(2024年7月1日現在)

### 事業内容

自動車部分を主体とする鉄の  
 casting. 機械加工製品の製造・  
販売



※「健康経営<sup>®</sup>」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。